



2022年11月11日

各 位

会社名 Institution for a Global Society株式会社  
代表者名 代表取締役社長 福原 正大  
(コード番号：4265 東証グロース)  
問合せ先 執行役員CO-CFO 管理部長 丸山 素子  
(TEL. 03-6447-7151)

2023年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び  
通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月11日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に下記の通り差異が生じましたのでお知らせいたします。また、2023年3月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	342	△67	△67	△46	△10.68
実績 (B)	254	△94	△93	△95	△21.57
増減額 (B-A)	△87	△26	△25	△48	—
増減率 (%)	△25.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期第2四半期)	268	△29	△29	△29	△7.43

(注) 2021年11月10日付で株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(差異の理由)

売上高は、教育事業におきましては「Ai GROW」「e-Spire」の採用校が順調に増加し、ほぼ当初予想通りの進捗となりました。しかし、HR事業におきましては、新規事業は予想通りに進捗したものの、人的資本情報開示の動きが当社の想定より進んでいないこと、営業施策の変更の遅れに伴い、結果としてフォローアップ営業の不足やプロダクト拡充の不足、新規顧客の開拓経路多角化の遅れが生じたこと、足元の経済情勢により既存顧客ビジネスにマイナスの影響が出たこと等により、当初予想より80百万円減少いたしました。

売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益は当初予想より減少いたしました。また、四半期純利益につきましては、売上高の減少に加え、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の追加計上を見送ったため、当初予想より減少する結果となりました。

2. 2023年3月期通期業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	976	180	180	124	28.28
今回修正予想（B）	849	40	41	25	5.88
増減額（B－A）	△127	△139	△139	△98	－
増減率（％）	△13.1	△77.5	△77.2	△79.1	－
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	720	39	21	44	10.90

（注） 2021年11月10日付で株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

（修正の理由）

売上高は、教育事業部におきましては当初予想通りに順調に推移する見込みです。しかし、HR事業部におきましては、外注営業の積極活用や他社との提携推進、「人的資本理論の実証化研究会」の発足及び研究成果の横展開、新プロダクトの開発等に積極的に取り組んでいるものの、第2四半期累計期間の営業活動の遅れをカバーするに至らず、当初予想より127百万円減少する見込みです。

コスト面では、経常費用については経費削減に努める一方、「STARプロジェクト」実証後のWeb3.0事業化の展開を見据え、研究開発費や支払報酬等の新規事業に係る費用50百万円を新たに織り込んでおります。

この結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想より減少する見込みです。

（注） 上記の予想数値は当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上